

第11回

手づくり紙芝居コンクール



作品募集

日本独自の文化であり、世界最小の演劇である紙芝居の質的向上を図るとともに、魅力あるお話の世界に触れ、子どもが自主的に読書活動を行う機運の醸成を図るため、自作自演による「手づくり紙芝居コンクール」を開催します。皆様のご応募、お待ちしております。



応募期限 平成16年9月4日(土) (郵送の場合は、9月4日の消印有効)

最終審査会 平成16年11月3日(水)
県立図書館2階 メディア・アート・ホール

主催：和歌山県教育委員会 主管：和歌山県立図書館

平成16年度和歌山県子どもの読書活動推進事業

作品の申込みについて、詳しくは募集要項(応募票もついています)をご覧ください。

作り方アドバイス

- (1) 表紙には、タイトルと制作者名を書きましょう。
- (2) 絵は大きくはっきりと描き、画面には文字を書かないようにしましょう。
- (3) 主人公を浮き立たせるように、周りにはできるだけ書き込みをしないようにしましょう。
- (4) 物語も絵もシンプルに描きましょう。
- (5) セリフを生かし、耳に心地よい言葉づかいにしましょう。
- (6) 遠目のきく絵を描きましょう。
- (7) 右から左への場面の移動を考えましょう。
- (8) セリフは作品に、あらすじは原稿用紙に書きましょう。



文化情報センターからのお知らせ

世界遺産登録記念 県民カレッジ講演会 10月23日(土) 13:30~15:30 メディア・アート・ホール

「世界遺産になった熊野古道」 講師：宇江 敏勝(作家・熊野語り部)

パソコン何でも相談 毎月第1・第3土曜日 13:00~16:00(予定) (無料)

新着ビデオ試写会 毎月第4火曜日 午後~(予定) 学校教育・社会教育用の新しいビデオの紹介



ひらこう、読書の扉



平成16年度和歌山県子ども読書活動推進事業

11月21日(日)

**会場：きのくに志学館
(和歌山県立図書館)**

主催：和歌山県教育委員会

主管：和歌山県立図書館

魅力ある本の世界に触れることにより、子どもたちや周りの大人みなさんに、本を楽しむことの素晴らしさや読書の大切さを実感していただく。そんな機会を提供いたします。

10:30~12:00
子どもふれあいワークショップ
(よみきかせ、ブックトーク、紙芝居等)
各コーナー定員30名(予定)
詳細未定

13:00~13:30
影絵人形劇
「あらしのよるに～あるはれたひに」
手作り絵本の会ねこのひげ
定員約250名(予定)

子どもふれあいワークショップと影絵人形劇については小学校2年生以下は保護者同伴で、講演は小学校3年生以上が対象です。



「あらしのよるに」
(木村裕一作、あべ弘士絵)
(講談社)

13:30~15:00
講演
「“ものがたり”の楽しみ方」
講師：木村 裕一(絵本・童話作家)
講演終了後、木村裕一さんの本の販売会・サイン会を行います。
定員約250名(予定)
県民カレッジ対象講座

木村裕一プロフィール

多摩美術大学卒業。造形教育の指導、白鷗短大講師、テレビ幼児番組のブレーンなどを経て、現在、絵本、童話の創作、戯曲、コミックの原作など幅広く活躍している。著書は300冊以上のほり、数々のロングセラーは国内外の子供たちに読み継がれている。代表作は、絵本「あらしのよるに」シリーズ、「きむら式童話の作り方」、エッセイ「オオカミのあっかんべー」など。



影絵人形劇・講演については、事前申込みが必要です。

申込み等の詳細については、追って、チラシ・ホームページでお知らせいたします。

県立図書館百年史編さんだより

創立後の和歌山県立図書館（１）

開館３年目にあたる明治４３（１９１０）年１月、「縣立図書館館外貸出規程」がようやく告示されました。それによると、当時の貸出要件は、

- 1 本県内ニ居住スル成年者ニシテ土地又八家屋ヲ有シ若ハ所得税ヲ納ムル者
- 2 年齢十五年以上ニシテ前号ノ資格を有スル保証人ヲ立ツル者
- 3 本県内官公立学校職員ニシテ当該学校長ノ証明アル者
- 4 本県所在ノ官公署及官公立学校
- 5 本県内ノ教育会、青年会、夜学会、婦人会、其他公益ヲ目的トスル団体ニシテ所轄郡市町村長ノ認証アルモノ
- 6 館長ニ於テ前各号ニ準スル資格アリト認メタルモノ

となっており、これらの六項目の内一つに該当すれば館外貸出を受けられるものとしています。現代から考えると随分厳しい要件であると同時に、この規定に該当する人はかなり限定された範囲でしかなかったものと思われます。従って、館外貸出を受ける場合には特許票を必要としますが、その際には「特許票下附願」に加えて「誓約書」のそれぞれに住所・氏名・年齢・職業を記入して捺印しなければならず、「誓約書」には保証人の連署まで求められていました。これは、蔵書数も少なく、書籍の価格も今の感覚からするとかなり高価であった頃のことですから、図書館資料を守るためには致し方のなかったことかも知れません。

大正１０（１９２１）年４月発行の『図書館報』（和歌山県立図書館刊）創刊号によれば、創立当初の図書購入費は明治４１年が３００円、同４２年が５００円、同４３年が７００円と序々に増額されてはいましたが、大正９年度に２，０００円の予算で購入することができた冊数は、わずかに６１４冊でした。

ちなみに、『日本出版百年史』によれば、明治４１年から４３年までの各年の出版総数（帝国図書館に納本されたもののみですから、必ずしも正確な数字とは言いきれないかも知れませんが）は、それぞれ２８，５２２冊、３４，１２３冊、４１，６２０冊となっていますが、当時発行された書物の平均単価の統計が見あたらないので、確たる証拠があるわけではありませんが、物価の変動等を考慮したとしても、明治期を通じて年度ごとに新たに購入できたものも、それぞれ１，０００冊以内ではなかったかと思われます。

一つの例ですが、明治４２・４３年発行の『帝国六法全書』（有斐閣版）の背皮装が１円、総皮装が１円２５銭で（『新値段の明治大正昭和風俗史』より）あったそうですから、県立図書館が購入の対象にできた資料は、結局それほど多くはなかったのが現実だったようです。（文責：資料課長 須山）

講演会「昔ばなしが語る子どもの成長」

去る７月２３日（金）、小澤俊夫先生をお迎えしての標記講演会が、おはなしボランティア「きいちご」との共催により開催され、盛況のうちに終了しました。

「昔ばなしの持つリズムの大切さ」「子どもが様々に変化しながら成長する姿を語る昔ばなしの奥深さ」等々、ユーモアを交えながらのソフトな語り口の講演に、聴衆のみなさん、魅了されていた様子でした。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



図書館カレンダー

(平成16年8月～平成16年11月)

8月

日	月	火	水	木	金	土
1 月初 休館日	2 休館日	3	4	5	6	7
8	9 休館日	10	11	12	13	14 おはなし会
15	16 休館日	17	18	19	20	21
22	23 休館日	24	25	26	27	28 おはなし会
29	30 休館日	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1 月初 休館日	2	3	4
5	6 休館日	7	8	9	10	11 おはなし会
12	13 休館日	14	15	16	17	18
19	20 祝日 休館日	21 振替 休館日	22	23 祝日 休館日	24	25 おはなし会
26	27 休館日	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1 月初 休館日	2
3	4 休館日	5	6	7	8	9 おはなし会
10	11 祝日 休館日	12 振替 休館日	13	14	15	16
17	18 休館日	19	20	21	22	23 おはなし会
24	25 休館日	26	27	28	29	30
31						

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1 休館日	2 月初 休館日	3 祝日 開館	4	5	6
7	8 休館日	9	10	11	12	13 おはなし会
14	15 休館日	16	17	18	19	20
21 ひらこく、 読書の扉	22 休館日	23 祝日 休館日	24	25	26	27 おはなし会
28	29 休館日	30				

予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
最新の開館情報は、図書館ホームページをご覧ください。

開館時間： 火～金 閲覧室 10:00～19:00 児童室 10:00～17:00
土・日・11/3 閲覧室・児童室ともに 10:00～17:00

図書館だより

第20号(平成16年8月1日)

発行 和歌山県立図書館

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7番38号 Te 1 073-436-9500

<http://www.wakayama-lib.go.jp/library/>

Fax 073-436-9501